

平成18年度

事業報告書

財団法人 東京都医学研究機構

目 次

ページ

I 研究事業	1
1 プロジェクト研究	1
(1) 都民・都政密着型プロジェクト群	1
(2) 都立病院連携型プロジェクト群	2
(3) 先端研究・産業連携型プロジェクト群	3
2 受託研究・受託事業	4
(1) 受託研究	4
① 神経科学総合研究所	4
② 精神医学総合研究所	5
③ 臨床医学総合研究所	6
(2) 受託事業	7
II 普及事業	8
1 普及活動	8
(1) 総括	8
(2) 本部事務局	8
(3) 神経科学総合研究所	9
(4) 精神医学総合研究所	10
(5) 臨床医学総合研究所	11
2 交流活動	12
(1) 総括	12
(2) 神経科学総合研究所	12
(3) 精神医学総合研究所	13
(4) 臨床医学総合研究所	13
3 産業界との連携活動	14

I 研究事業

1 プロジェクト研究： 30課題

(1) 都民・都政密着型プロジェクト群 8課題

研究課題	プロジェクトの 中心となる研究所	開始年度
SARS、C型肝炎ウイルス等感染症に対する 予防及び治療に関する研究	臨床医学総合研究所 (小原 道法)	16年度
神経ウイルス感染症の発症機序の解明と防御・ 治療法の開発	神経科学総合研究所 (小池 智)	17年度
花粉症等アレルギー疾患に対する予防及び治療 に関する研究	臨床医学総合研究所 (廣井 隆親)	18年度
大都市東京における心の健康危機管理	精神医学総合研究所 (飛鳥井 望)	16年度
児童思春期の心の健康増進に向けた研究	精神医学総合研究所 (西園 文)	17年度
睡眠障害の解明と治療法の開発	精神医学総合研究所 (本多 真)	17年度
学習・記憶機構とその障害に関する研究	神経科学総合研究所 (齊藤 実)	17年度
脊髄損傷による知覚・運動障害の治療法に関す る研究	神経科学総合研究所 (川野 仁)	17年度

(2) 都立病院連携型プロジェクト群 13 課題

研 究 課 題	プロジェクトの 中心となる研究所	開 始 年 度
サイトカイン産生制御によるアレルギー疾患の解析	臨床医学総合研究所 (宮武 昌一郎)	17年度
がん、生活習慣病及び遺伝病克服のための先端的医療支援	臨床医学総合研究所 (櫻庭 均)	16年度
身体に負担が少ないがんの検査法と治療薬の開発	臨床医学総合研究所 (米川 博通)	17年度
ストレス性障害の病態と治療法に関する研究	精神医学総合研究所 (榛葉 俊一)	17年度
統合失調症回復のための研究	精神医学総合研究所 (糸川 昌成)	16年度
うつ病の病態解明と治療法の開発	精神医学総合研究所 (楯林 義孝)	17年度
パーキンソン病克服のための研究	神経科学総合研究所 (高田 昌彦)	16年度
ALSの病態解明と新規治療法・ケア技術開発を目指す集学的研究	神経科学総合研究所 (小柳 清光)	17年度
高齢社会における心の病の解明と治療法に関する研究	精神医学総合研究所 (秋山 治彦)	17年度
視機能障害を起こす神経変性疾患の発症機序解明と治療法に関する研究	神経科学総合研究所 (原田 高幸)	17年度
運動制御システムのしくみとその異常に関する研究	神経科学総合研究所 (徳野 博信)	17年度
難治性てんかんの新しい治療法の開発	神経科学総合研究所 (新井 信隆)	16年度
脳発達障害と高次脳機能障害の病態解明と機能回復に関する研究	神経科学総合研究所 (林 雅晴)	17年度

(3) 先端研究・産業連携型プロジェクト群 9課題

研 究 課 題	プロジェクトの 中心となる研究所	開 始 年 度
多発性硬化症等神経難病の免疫療法の開発	神経科学総合研究所 (松本 陽)	16年度
幹細胞を用いた再生医療技術の開発研究	臨床医学総合研究所 (原 孝彦)	16年度
ゲノムの動態解析と細胞機能の制御	臨床医学総合研究所 (正井 久雄)	17年度
一分子イメージングとナノテクノロジーによる 生体機能分子の解析	臨床医学総合研究所 (原田 慶恵)	17年度
筋ジストロフィー等カルパイン不全で発症する 疾病の解明	臨床医学総合研究所 (反町 洋之)	17年度
自己タンパク質分解による栄養制御と細胞内新 陳代謝	臨床医学総合研究所 (水島 昇)	17年度
神経細胞情報伝達の機能失調と脳神経障害に関 する研究	神経科学総合研究所 (岡戸 晴生)	17年度
脳病変における分子動態と三次元構造変化に関 する研究	神経科学総合研究所 (内原 俊記)	17年度
細胞膜を介する情報伝達の解明	臨床医学総合研究所 (村上 誠)	17年度

2 受託研究・受託事業 29課題、1事業

(1) 受託研究: 29課題

① 神経科学総合研究所: 9課題

研 究 課 題	研究代表者 氏 名
在宅難病患者等訪問看護師養成研修事業	小倉 朗子
A L S、進行性筋ジストロフィー等医療機器使用在宅難病療養者における、震災時の備えと支援ニーズ、地域の支援ネットワークに関する検討	小倉 朗子
在宅難病患者通所サービス利用支援モデル事業における事業支援	小倉 朗子
ドーパミンによる行動の発達と組織化のメカニズムのシステムの解析	高田 昌彦
サルにおけるモデル作製及びパーキン遺伝子導入の有効性と安全性の検討	高田 昌彦
キトサン・ナノ繊維を用いた神経再生促進型マトリックスの開発	渡部 和彦
脳の機能障害に関する研究	川野 仁
難病等在宅療養者における療養環境整備と地域ケアシステム	小倉 朗子
顔面神経損傷後の運動神経細胞死および再生に対するMC I - 1 8 6の効果に関する研究	渡部 和彦

② 精神医学総合研究所： 6課題

研 究 課 題	研究代表者 氏 名
遺伝子多型データから鎮痛薬の適量を算出する計算式の開発	池田 和隆
被害者のPTSD治療法の研究（治療前後における評価方法に関する研究）	飛鳥井 望
E231（Cerebrolysinの派生品）の成獣ラット海馬歯状回神経新生現象へのin vivo及びin vitroの影響	楯林 義孝
画像による感情刺激に関する基礎研究	星 詳子
血小板ベンゾジアゼピン受容体によるストレス感受性の評価	吉井 光信
てんかんミュータントスナネズミ、ELマウスの脳におけるレベチラセタムの抗痙攣メカニズム	村島 善也

③ 臨床医学総合研究所： 14課題

研 究 課 題	研究代表者 氏 名
スギ花粉症における舌下減感作療法の臨床研究	廣井 隆親
XFEL生体分子単粒子構造解析における試料操作要素技術の調査	原田 慶恵
DNAモーター	原田 慶恵
筋胃腸におけるカルパイン生理機能の解析	反町 洋之
分泌性ホスホリパーゼA2群の分子種固有の機能の解明	村上 誠
ユビキチンと分子シャペロンの連携による細胞機能制御機構の解明	村田 茂穂
DNA/タンパク質間相互作用の高精度1分子多次元解析	横田 浩章
オートファジーによる細胞内クリアランス機構	水島 昇
副作用の少ない高機能型ファブリー病治療薬の研究開発	桜庭 均
標的細胞ノックアウト法による疾患モデルマウスの作製とその遺伝解析	米川 博通
コレステロール合成酵素系および新規抗HCV剤の標的宿主因子の同定と動物モデルを用いた評価に関する研究	小原 道法
超微量バイオ分子間相互作用測定システムの開発	原田 慶恵
ミトコンドリアダイナミクス解析の研究開発	米川 博通
ユビキチンシステムの機能解析に関する研究	田中 啓二

(2) 受託事業： 1事業

神経科学総合研究所・精神医学総合研究所

受 託 内 容
世界脳週間参加事業 講演会：「心の分子メカニズムの探索」

Ⅱ 普及事業

1 普及活動

(1) 総括

事業	主な対象・配布先	発行部数・参加人員等
1 事業概要・年報等の発行	大学、研究機関、行政機関、病院、保健所、その他関係機関	1,860部
2 研究所ニュースの発行	一般都民、大学・研究機関、行政機関、病院、保健所、関係機関等	年6～12回 各500～1,500部 延18,600部
3 パンフレット・リーフレットの発行	一般都民、研究者、学生、病院、保健所、行政機関、その他関係者・関係機関	5,800部
4 機構・各研究所ホームページ	一般都民、研究者、医療・公衆衛生従事者等	アクセス件数 581,092
5 講演会等の開催	一般都民、研究者、学生、医療・公衆衛生従事者等	年11回 延4,249人
6 研修会等の開催	一般都民、学生、研究者、医療・公衆衛生従事者等	年10回 延267人

※その他、各研究所において、施設見学の受入を行った。

(2) 本部事務局

事業	主な対象・配布先	時期	発行部数・参加人員等
1 機構紹介リーフレットの作成	一般都民、研究者、学生、病院、保健所、行政機関、その他関係者・関係機関	平成19年3月	3,000部
2 機構ホームページ	一般都民、研究者、医療・公衆衛生従事者等	年間	アクセス件数 29,811
3 都民講演会の開催	主として一般都民	平成18年11月	679人

(3) 神経科学総合研究所

事業	主な対象・配布先	時期	発行部数・参加人員等
1 年報の発行	大学、研究機関、行政機関、病院、保健所、その他関係機関	平成18年8月	500部
2 神経研ニュースの発行	大学、研究機関、行政機関、病院、保健所、その他関係機関	年6回	各500部 延3,000部
3 研究所紹介リーフレットの作成	一般都民、研究者、学生、病院、保健所、行政機関、その他関係者・関係機関	平成19年3月	1,500部
4 身近な医学研究情報冊子の作成	一般都民、学生、病院、その他関係者、関係機関	年間	300部
5 神経研ホームページ	一般都民、研究者、医療・公衆衛生従事者等	年間	アクセス件数 437,550
6 神経研都民講座の開催 (講演会)	主として一般都民	平成18年4月	315人
7 神経研夏のセミナーの開催	研究者、学生、医療・公衆衛生従事者等	平成18年7月 4回	93人
8 世界脳週間参加行事 (講演会の開催)	都内高校生を含む一般都民	平成19年2月	精神研と 合同開催 (820人)

(4) 精神医学総合研究所

事業		主な対象・配布先	時期	発行部数・参加人員等
1	年報の発行	大学、研究機関、行政機関、病院、保健所、その他関係機関	平成18年10月	700部
2	精神研ニュースの発行	一般都民、行政機関、保健所、病院、研究機関、関係機関	5、7、9、11、1、3月の年6回	各1,500部 延9,000部
3	研究所紹介パンフレットの作成	研究者、医師、学生、都民病院、保健所、行政機関、その他関係者・関係機関	平成18年12月	1,000部
4	精神研ホームページ	一般都民、研究者、医療・公衆衛生従事者等	年間	アクセス件数 24,752
5	精神研都民講座の開催 (講演会)	主として一般都民	6、7、9、10、12、1月の年6回	延2,132人
6	科学技術週間参加行事 精神研春季公開講座の開催 (講演会・施設公開)	主として一般都民	平成18年4月	講演 114人 公開 44人
7	世界脳週間参加行事 (講演会の開催)	都内高校生を含む一般都民	平成19年2月	820人

(5) 臨床医学総合研究所

事業	主な対象・配布先	時期	発行部数・参加人員等
1 年報の発行	大学、研究機関、行政機関、病院、保健所、その他関係機関	平成18年9月	500部
2 研究報告集の発行	大学、研究機関、行政機関、病院、保健所、その他関係機関	平成19年2月	160部
3 臨床研ニュースの発行	大学、研究機関、行政機関、病院、保健所、その他関係機関	毎月1回	各 550部 延6,600部
4 臨床研ホームページ	一般都民、研究者、医療・公衆衛生従事者等	年間	アクセス件数 88,979
5 科学技術週間参加行事 公開講演会の開催 (施設公開を含む)	主として一般都民	平成18年4月	145人
6 臨床研カレッジの開催	主として一般都民 (講師：6人)	平成18年6月 6回	1講座29人 延174人

2 交流活動

(1) 総括

事業	主な対象	発行部数・参加人員等
1 シンポジウム・セミナー等の開催	研究者、医療・公衆衛生従事者等	年51回 延1,950人
2 外部研究員等の受入れ	大学、研究機関、都立病院等の共同研究者、研究補助員等	295人
3 研究生等の受入れ	大学、研究機関等	243人
4 大学との連携・研究交流（連携大学院）	首都大学東京外	客員教員 34人 受入学生 21人

(2) 神経科学総合研究所

事業	主な対象	時期	発行部数・参加人員等
1 神経研シンポジウムの開催	研究者、学生、医療・公衆衛生従事者等	平成18年10月	118人
2 神経科学セミナーの開催	研究者、医療・公衆衛生従事者等	年20回	延602人
3 多摩キャンパス 神経カンファランス	府中キャンパス内等医療従事者	年2回	延67人
4 (独)日本学術振興会 研究員等の受入れ	(独)日本学術振興会 (独)科学技術振興機構	年間	3人
5 客員研究員等の受入れ	大学、研究機関等の共同研究者	年間	90人
6 研究生の受入れ	大学、研究機関等	年間	50人
7 大学との連携・研究交流（連携大学院）	首都大学東京、東邦大学	年間	客員教員11人 受入学生 5人

(3) 精神医学総合研究所

事業	主な対象	時期	発行部数・参加人員等
1 精神研シンポジウムの開催	研究者、医療従事者等	平成18年12月	259人
2 精神研セミナーの開催	研究者、医療従事者等	年11回	延420人
3 (独) 科学技術振興機構特別研究員等の受入れ	(独) 科学技術振興機構 (財) 日本公定書協会	年間	2人
4 客員研究員等の受入れ	大学、研究機関等の研究者 都立病院等の医師等	年間	59人
5 研究生の受入れ	大学、研究機関等	年間	98人
6 大学との連携・研究交流 (連携大学院)	首都大学東京	年間	客員教員6人 受入学生3人

(4) 臨床医学総合研究所

事業	主な対象	時期	発行部数・参加人員等
1 各種セミナーの開催	研究者、医療従事者等	年16回	延484人
2 (独) 日本学術振興会特別研究員等の受入れ	(独) 日本学術振興会 (独) 科学技術振興機構	年間	14人
3 客員研究員等の受入れ	大学及び研究機関の研究者	年間	127人
4 研修生の受入れ	大学院生等	年間	51人
5 大学との連携・研究交流 (連携大学院)	筑波大学、お茶の水女子大学 首都大学東京、東京理科大学外	年間	客員教員17人 受入学生13人
6 東京大学教養学部自由研究ゼミナール「生命科学の現在」の受入れ	東京大学教養学部学生	平成18年4月等	44人

3 産業界との連携活動

事業	主な対象	時期	発行部数・参加人員等
1 研究成果の特許化、実施	バイオ・医療系ベンチャー企業、製薬企業、医療機器関連企業	年間	特許出願件数 (日本国内のみ) 17件
2 医療研究開発及び産業連携等連絡会議の開催	製薬企業団体及び中小企業振興・育成団体	平成19年1月	20人
3 研究交流フォーラムの開催	バイオ・医療系ベンチャー企業、製薬企業	平成19年3月	145人
4 研究シーズ集の作成	バイオ・医療系ベンチャー企業、製薬企業	平成19年1月	400部

※ その他、研究成果の実用化促進の一環として、民間企業等との交流会、研究開発に関する技術指導等の活動を実施した。